



吃飯了嗎? レポート

Chī fàn le ma



※直訳すると「ご飯食べましたか?」の意。
中国では挨拶代わりに用いられている。

Presented by FX Shonan Investment Group

吃飯了嗎? (中国レポート) (No1) NOV12、2014(Wednesday)

「今週の指標はここまでマチマチ、GDP、小売売上など」

「予想レンジ 人民元円 17.00-18.00、人民銀行対ドル中間値

1. 中国経済指標

予定

日付	指標等	月/期	予想値	結果	前月/期
10月21日	GDP 前年比	3 Q	7.2%	7.3%	7.4%

中国市場指標 (前回比)

ハンセン指数	23088 (+41)	香港ドル (対ドル)	7.7608 (7.7546)
香港 H 株	10275 (+21)	人民元 (対ドル) 中間値	6.1410 (6.1408)
SHIBOR (1ヶ月)	0.21% (0.21%)	香港ドル人民元	0.7913 (0.7919)
上海総合指数	2339 (-20)	香港ドル円	13.79 (13.81)
人民元円スワップ (どっとコム社)	0円 (3円)	人民元円 市場	17.43 (17.45)

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。
なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、FX湘南投資グループならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。



吃飯了嗎? レポート

Chī fàn le ma



※直訳すると「ご飯食べましたか?」の意。
中国では挨拶代わりに用いられている。

Presented by FX Shonan Investment Group

2. 総括「今週の指標はここまでマチマチ、GDP、小売売上など」

(ポイント)

- *9月 CPI は低下し金融緩和観測が強まる
- *人民銀行はレポレート低下を誘導
- *人民銀行は銀行に資金を注入
- *3Q・GDP は2Q を下回るが予想を上回る
- *9月小売、固定資産は予想を下回る
- *9月工業生産は予想を上回る
- *9月貿易収支では輸出入ともに伸びる
- *人民銀行総裁は今年の7.5%成長を強調
- *中露首脳会議で貿易取引拡大を狙う
- *世銀、ADB ともに成長見通しを下方修正
- *人民銀行は穏便な金融政策を継続
- *上海総合指数は主要株価指数で首位へ
- *8月直接投資大幅減少
- *戸籍改革が始まる
- *2013年で中国の貿易総額は世界一となった

+++++

(CPI 低下で金融緩和観測生じる)

- ・PPI [前年比] 前-1.2% 予-1.5% 結果
 - ・CPI [前年比] 前+2.0% 予+1.7% 結果
- レポレートを低め誘導し、銀行に資金を注入している。

人民銀行は、10月17日、国内の中堅上場銀行5-6行に期間3カ月の融資で約2000億元を注入することを通知した。流動性を潤沢に保ち、減速の懸念が強まる中国景気を支える狙いがある。

国内大手行に対しては、すでに5000億元を融資した。金融システムの流動性を保つため、的を絞った緩和姿勢を維持しているとの見方も出ている。

(3Q・GDP、小売、工業生産など)

3Q・GDP は2Q を下回ったが、予想は上回った。小売売上と固定資産投資は予想を下回ったが、工業生産は予想を上回った

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。

なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、FX湘南投資グループならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。



吃飯了嗎？レポート

Chī fàn le ma



※直訳すると「ご飯を食べましたか?」の意。
中国では挨拶代わりに用いられている。

Presented by FX Shonan Investment Group

3Q・GDP 前7.5% 予7.2% 結果7.3%
 9月小売売上 前11.9% 予11.7% 結果11.6%
 9月工業生産 前 6.9% 予 7.5% 結果8.0%
 9月固定資産投資 前16.5% 予16.3% 結果16.0%

(今週は四中全会あり)

中国共産党の「四中全会」は5年に一度の党大会で選出される最高指導機関の1つの中央委員会が4回目に関開全体会議で、習近平指導部をはじめ、中央委員など合わせて300人以上が出席して北京で開かれる。今回は「法による国家統治の全面的推進」が主要な議題で、裁判所と検察が共産党の管轄下でありながらも、より公正に権限を行使できるようにするための司法改革が焦点の一つになる見通し。

また、まん延する腐敗を撲滅するための制度的な保障を強化することや、予算管理の改善など行財政体制の改革にも重点が置かれる。

このほか、「重大な規律違反」に問われて、最高指導部の経験者としては極めて異例の調査を受け、刑事責任追及の可能性も取り沙汰されている周永康前政治局常務委員の問題の扱いも注目されている。会議は今月23日まで開かれる予定で、習近平指導部には「法の支配」を重視する姿勢を強調するとともに、会議で打ち出される改革を進めることで政権の統治能力を高め、共産党支配体制を強化するねらいがある。

(英国で人民元債発行)

英国では中国国外では世界初となる人民元建て債券が発行された。人民元の世界的な存在感が高まっていることに加え、英国が世界の金融取引のハブとなる努力を続けていることもあり、順調に消化されたもようだ。

今回のオフショア人民元建て債券(点心債)は、募集額30億元に対し85件、合計58億元の需要が寄せられた。約半分はアジア以外の投資家が購入したといい、点心債市場の裾野が拡大していることが鮮明となった。

利回りは最終ガイダンス「2.75%プラスマイナス0.05%」の下限となる2.70%で決定。当初ガイダンスされた「2.9%近辺」より大幅にタイトな水準でプライシングされた。

投資家属性をみると、銀行が64%、中央銀行や公的機関が17%、資産運用会社が19%となった。今回の起債額は小さいが、英国投資家の関心を人民元に向かわせることになる見方が強い。

*

3.テクニカル&香港経済

<人民元/YEN 日足>

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。

なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、FX湘南投資グループならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。



吃飯了嗎？レポート

Chī fàn le ma



※直訳すると「ご飯食べましたか?」の意。
中国では挨拶代わりに用いられている。

Presented by FX Shonan Investment Group

団子天井からの下落は、今年の高値、安値の半値の13.56あたりで下げ止まった。またボリバン下限を大きく下抜いたことは行きすぎであった。10月2日-3日の上昇ライン、8月8日-15日の上昇ラインを下抜いて下落、ボリバン下限を下抜いたが、週後半は10月15日-16日の下降ライン、10月6日-10日の下降ラインを上抜いて小反発した。

昨日は10月16日-17日の上昇ラインを下抜いて下落したが、その後は下ヒゲを残している。5日線はまだ下向き。

週足は先週は長い下ヒゲを残している。10月6日週-13日週の下降ライン上抜けを維持できるか。9月8日週-15日週、8月18日週-9月1日週の上昇ラインを下抜いている。

月足は9月の陽線でボリバン上限を越えていたがようやくバンド内へ。9月の上昇分の調整だろう。月足は長い下降ライン1998年8月と2007年6月の下降ラインを上抜いた。直近では今年2月-3月の上昇ラインを下抜いたが4月-5月の下降ラインを上抜いた。年足は2002年-2007年の下降ラインを上抜いた。2012年-13年の上昇ラインに沿っている。また年足では先週一時陰線となった。

4. 吃飯了嗎？「米財務省為替報告」

10月15日、半期に一度の米財務省為替報告で中国人民元と韓国ウォンが過小評価と指摘した。中国による外国為替市場への介入は低減したとしながらも、人民元相場は依然として著しく過小評価されていると指摘した。また、韓国ウォン相場も過小評価されているとし、韓国当局は一段の上昇を容認する必要があるとした。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。

なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、FX湘南投資グループならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。